

平成十九年度

各会派基本方針

(10-11面)

自由民主党



自由民主党茨城県支部長 山口 武平

分権型の魅力ある地域づくりへ

昨年暮れの改選において、わが自由民主党は、改選前を上回る四十九議席を獲得しました。これをもとに、わが党への県民の皆様のご支援ご協力のたまものと感謝申し上げる次第です。引き続き、県政の責任政党として、皆様の負託に応えるべく精進していく旨をお誓い申し上げます。さて、わが国は今、経済のグローバル化や本格的な人口減少社会の到来など、内外ともに様々な課題を抱え、大きな転換期を迎えています。本県も、南北格差や医師不足、少子高齢社会への対応など、内憂外患の状況にあり、危機的な状況にある財政の健全化は、喫緊の最重要課題です。そのため、県では、これまでの歳入・歳出面からの改革に加え、本年度からは二年間の職員給与削減に踏み切ったところです。私も県議会も自ら報酬カットに乗り出すほど、深刻な事態にあることをご理解いただければ幸いです。しかし、県政の目指すところは県民福祉の向上です。わが党流に言いますと、老若男女が夢と希望を持ち、互いに助け合いながら、安心して健やかに暮らせる地域社会、「いばらき福祉の郷(さと)」の実現です。そのため、わが党は、最先端科学技術拠点の形成や創造的企業の育成、商工業、農林水産業の振興などを通して、日本をリードする「産業大県づくり」を推進し、「県民生活の安全・安心の確保や福祉・医療の充実など」に取り組んでいるところです。昨年十一月には平成十九年度の県政の基本方針となる県重要政策大綱を取りまとめ、知事に提出しました。今後は、会派の所属議員全員を構成メンバーとする政務調査会を中心として、「知恵」「人」「資源」「交流」「条件整備」の五つの視点から、地方分権時代にふさわしい魅力ある地域づくりや、大綱に掲げた諸施策の推進に精いっぱい努めるとともに、政調会活動の活性化を通して、議会の大きな役割である監視機能と政策立案機能の充実・強化を図ってまいります。今後とも、わが党に對しまして、県民の皆様方の温かいご支援ご協力をお願い致します。

予算特別委員会

障害者の賃金確保、ものづくり県としてのアピール、子どもたちの安心な居場所づくりなど質疑

A委員(自民) 障害者が安心して地域で生活するため、授産施設での賃金の確保をどう図るのか伺う。
保健福祉部長 平成十九年度に障害者の賃金を倍増させるための五か年計画を策定する。それに基づき、企業に製品の受注と販路拡大のための商談会の開催などを働きかけるとともに、施設の経営改善支援のため、研修会の開催やコンサルタント派遣などに取り組む。
(ほかに、生活排水対策なども質問)
B委員(民主) 地産地消や県産品愛用の考え方を工業製品にも拡大し、ものづくり県としての本県の地位を積極的にアピールすべきであると考えますがどうか。
知事 工業製品も県産品であり、産業大県を支える重要な要素なので積極的に推奨に努めたい。各種広報媒体の活用や、展示会等での紹介のほか、県の施設でも展示を実施したい。
(ほかに、公用車への低公害車の導入計画、太陽光発電の普及促進なども質問)
C委員(自民) 子どもたちの安心な居場所づくりの事業として、従来の放課後児童クラブに加え、放課後子ども教室推進事業が始まるが、実施にあたっては課題も多いのではないかと。
教育長 市町村に對して適切に助言するなどしてさまざまな課題の解決を図っていきくとともに、国に對して両事業の一本化を強く要望していく。
(ほかに、小児医療への対応、環境保全対策なども質問)
D委員(自民) 県立病院改革期間は残り三年だが、改革初年度の収支状況と評価、今後の取り組みは。
病院局長 収入は昨年同様で、経費削減により純損失は昨年を下回る見込みであり、さらに改革を進める。中央・友部両病院のあり方検討会で、担うべき政策医療や診療機能、精神科救急医療等の議論をしており、目標の具体化、患者サービスの向上に取り組む。
(ほかに、緩和ケア、高校における道徳なども質問)
E委員(自民) 日銀の金利引き上げは、県の中小企業向け制度融資の金利にどのような影響を与えるのか。
F委員(自民) 国道二四五号日立港拡幅事業の進捗状況と今後の整備スケジュールについて伺う。
土木部長 新茂宮橋の二車線分については、三月二十九日に供用開始する予定であり、残りの二車線分については、平成十九年度から着工したい。全区間の四車線化については、平成二十年代前半に供用開始できるよう努める。
(ほかに、食品営業施設の監視指導、ハサップシステムの普及推進なども質問)
G委員(自民) つくば市開催の働きかけを提案し、今年開催された第四回全日本女子選抜駅伝の評価と感想は。また今後の定着のため、県内大学や優秀選手の出場に向けた養成は。
知事 委員が本県開催の生みの親でありつくばのPRやスポーツ振興に役立った。主催者会長に成功したとの言葉も頂いた。県スポーツ振興基本計画により選手や指導者の強化育成に努める。
(ほかに、麗ヶ浦浄化、教員研修の充実なども質問)
H委員(共産) 茨城中央工業団地に場外車券場の建設計画があるが、県の工業団地にギャンブル場は認めないという基本方針を示すべきだが所見を伺う。
知事 雇用の創出や地域振興、税収増などに効果が見込まれ、地元が積極的に導入を進めていきたいという場合には、県として立地を承認することもあり得るものと考えている。
(ほかに、麗ヶ浦導水事業の中止、特別支援教育の体制づくりなども質問)
I委員(公明) 日立市が河原子海岸に整備中の臨海公園や新たな交付金を活用し、サーフィンを活かしたサーフツーリズムによる地域活性化に取り組むのでは。
企画部長 サーフツーリズムの推進は若者の誘客促進に有意義であるので、日立市の意向等も踏まえ検討していく。また、交付金の活用については、関係部局と検討し十分調査していく。
(ほかに、カーボンオフセットの考え方もとづく県民運動なども質問)
J委員(自民) 教育の基本は、自他に対する愛、慈しむ心である。教師は、それを具体的な形にして、リーダーシップを持って指導に当たることが必要と考える。道徳教育の人づくりの目標像とは何か。
教育長 道徳教育の目指す生徒像は、人に感謝を言える人間、他人の話に耳を傾け自分の考えを表現できる人間、目標を夢に向かって進んでいける人間と考える。
(ほかに、夢のある県政運営と財政再建も質問)

質問者

- 山岡 恒夫 (自由民主党)
今 一男 (民主 党)
錦織 孝一 (自由民主党)
大高 伸一 (自由民主党)
加倉井昭喜 (自由民主党)
菊池 敏行 (自由民主党)
小川 一成 (自由民主党)
大内久美子 (日本共産党)
井手 義弘 (公明 党)
関 宗長 (自由民主党)